

火山灰地

久保 栄 著
昭和12年～13年
雨宮場長のせりふ

玲子

むかし旭岳や十勝岳がまだ活火山だった時分に、
ここの平野にいっぱい灰が降って、
今も降ったまんまになっているんですってね。

なぜ空へあがった火山灰は、石狩の方へ
たなびかないでこっちへ降るの？



雨宮

火山灰の降っていたところか.....

玲子...きっと...今に...この平野の上に...もう一度火山灰が...

玲子

え?...なにをいってらっしゃるの？

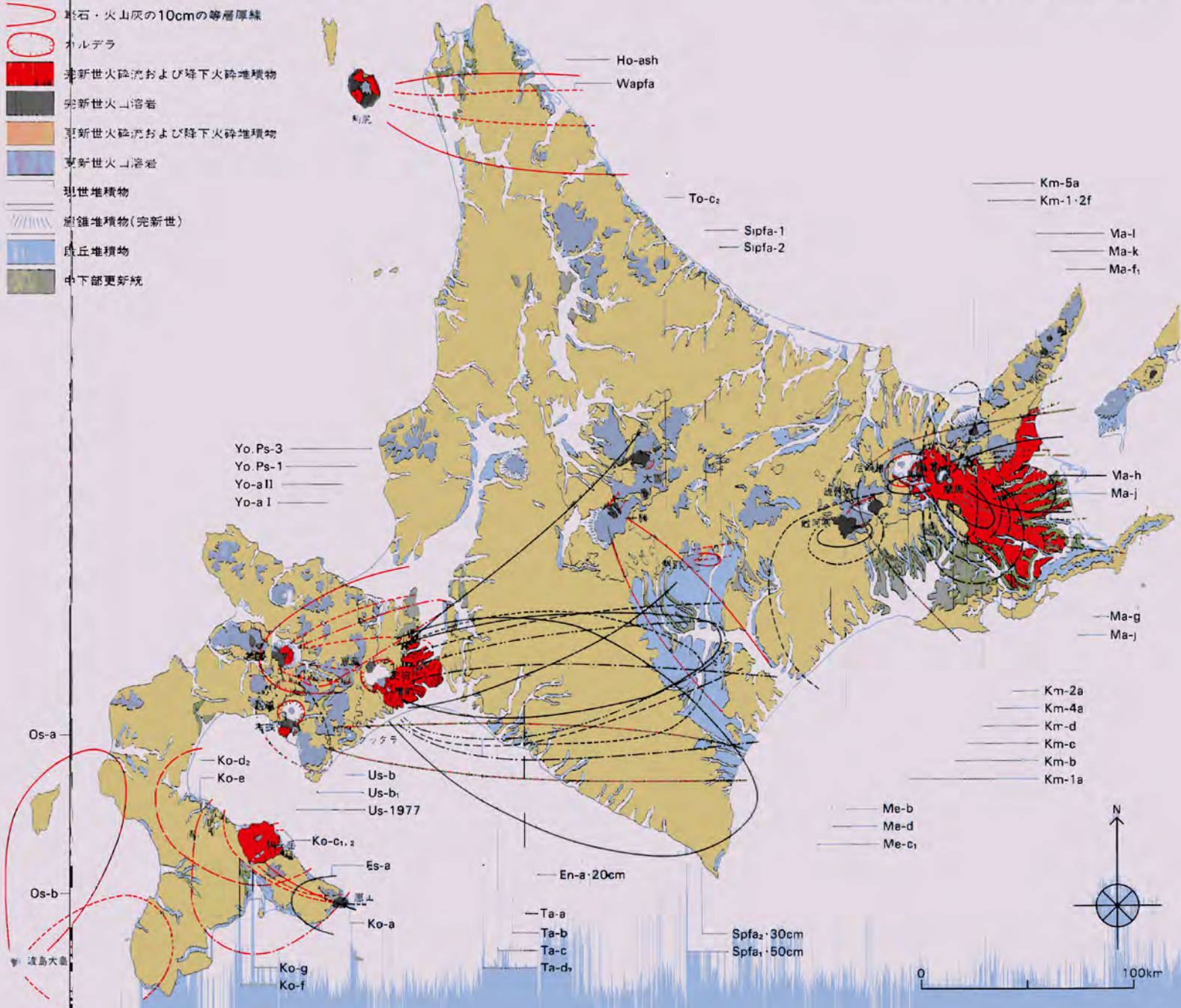
雨宮

十勝嶽や石狩岳が...また荒れだすときがあるかもしれない.....

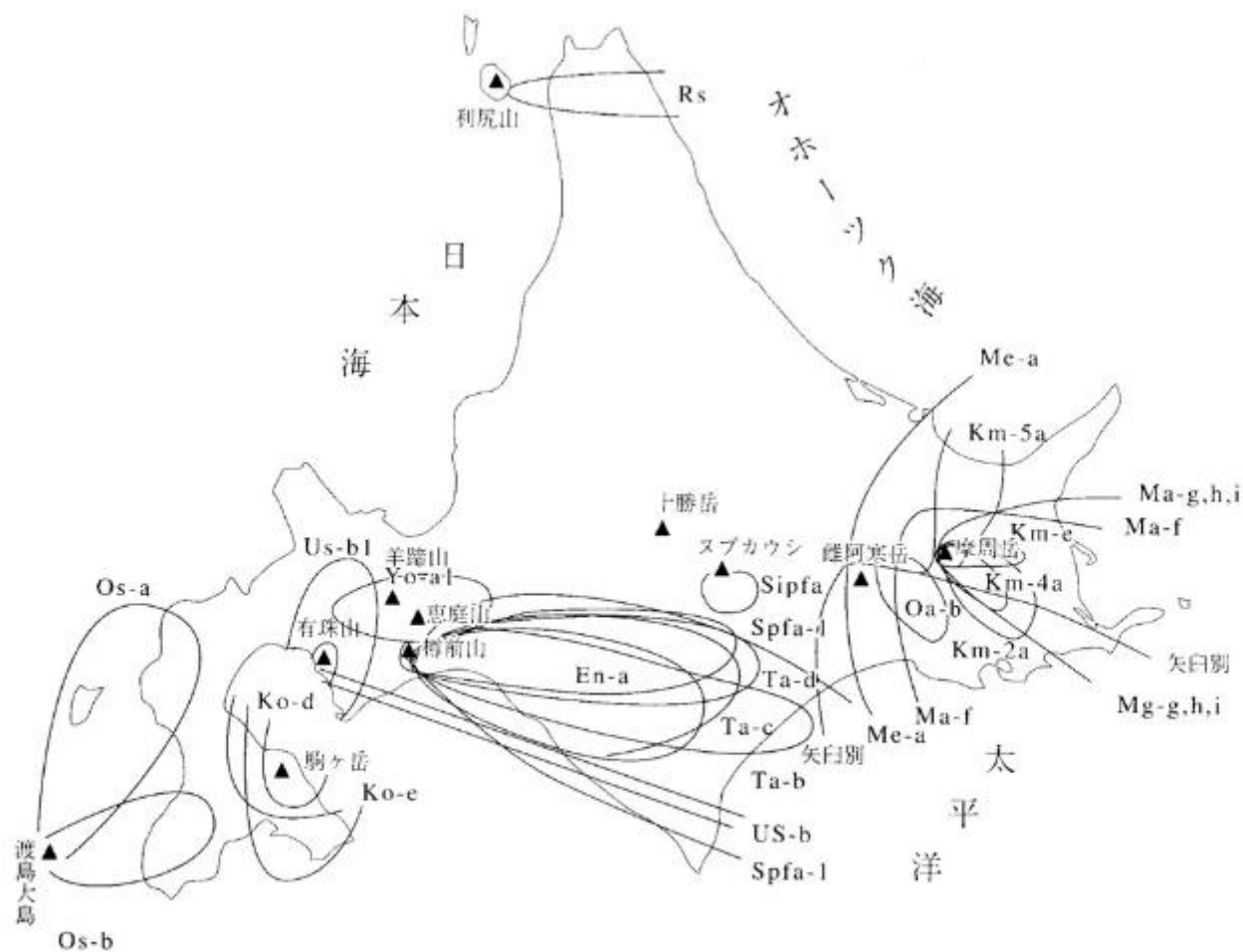
だが、その灰の下で、お父さんと...おれとおまえは、
どんなふうにして会うかなあ。

図1—北海道における主要な軽石・火山灰の分布

〈主に北海道火山灰命名委員会(1982)の分布区による〉



北海道における火山灰の分布



図一 北海道における火山灰の分布

菊地(1999)

十勝平野に降灰した主な火山灰

樽前a (Ta-a)	1739年	
駒ヶ岳c ₂ (Ko-c ₂)	1694年	
樽前b (Ta-b)	1667年	(シャクシャインの乱1669年の間接的原因)
有珠b (Us-b)	1663年	(十勝平野南部にわずかに降灰)
樽前c (Ta-c)	BC1000頃	(根釧にまで広域に降灰)
十勝c ₂ (To-c ₂)	3000-4000年前	(再び寒冷化)
樽前d (Ta-d)	8940±160年前	(海水面上昇)
ソフトローム	11,940±240年前	
ボール状ローム	15,010±400年前	(温暖化開始)
恵庭a (En-a)	17,000-19,000年前	(ウルム氷期最盛期)
支笏1 (Spfa-1)	39,000-41,000年前	(ゲトワイデル亜間氷期)

十勝平野の火山灰の起源を決めることは実際は困難な仕事であった。
十勝岳か樽前山か、雌阿寒岳か駒ヶ岳か？

段丘地形のでき方と火山灰の堆積

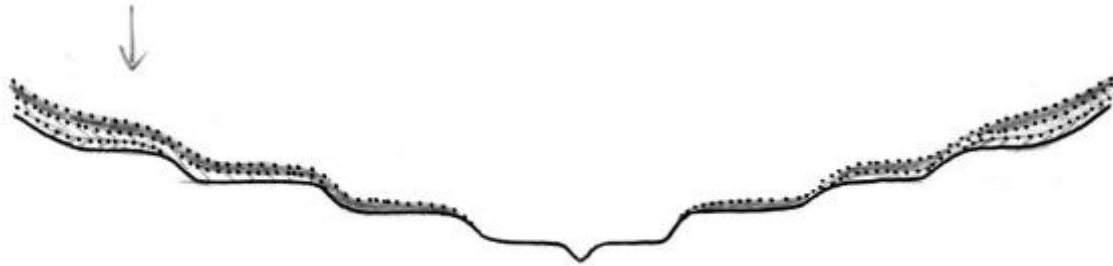
低地土の堆積



隆起・侵食



新しい火山
灰や風成層
の堆積



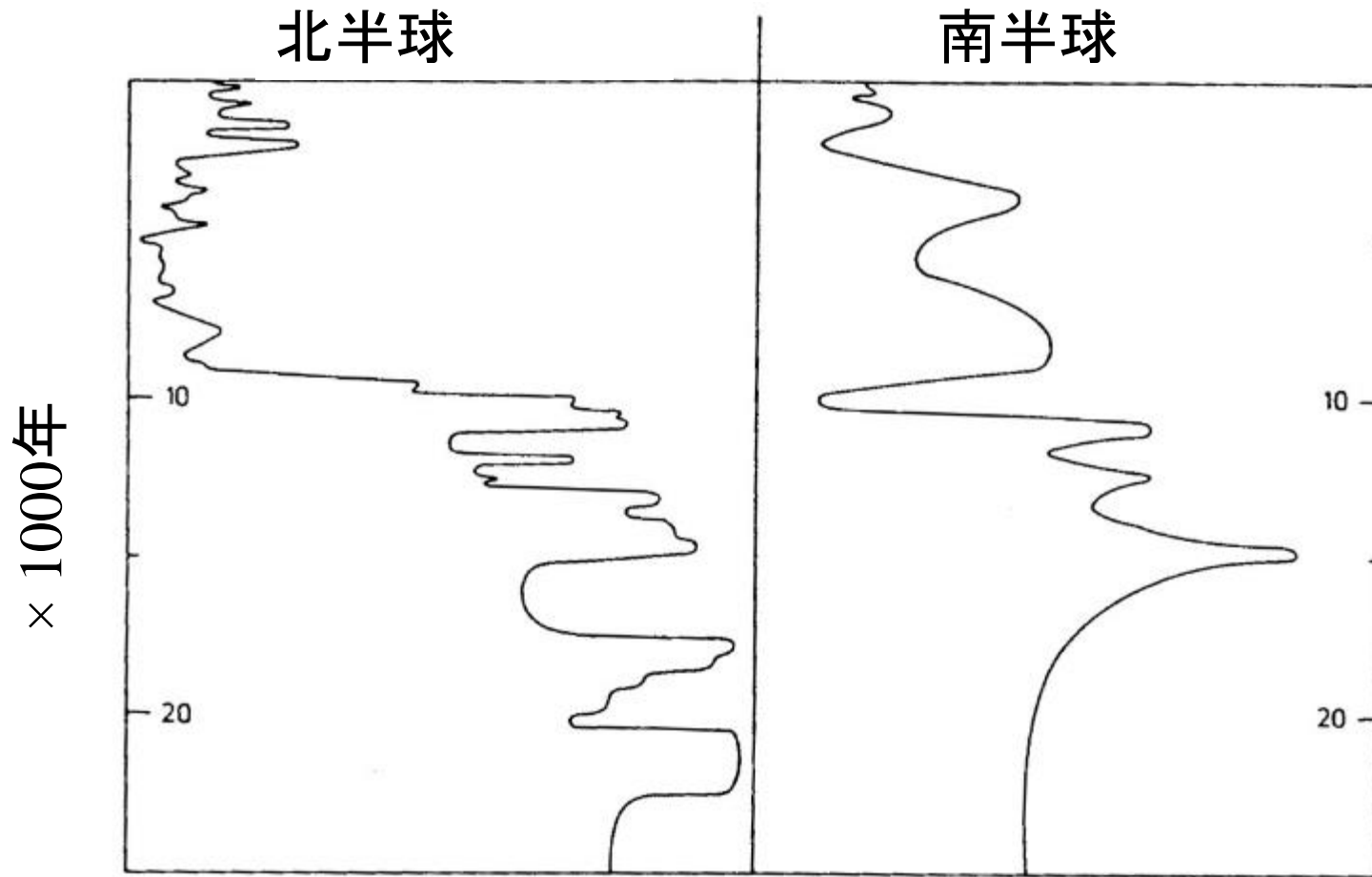
段丘地形のでき方

- 造山運動によって土地が全体に隆起すると、
- 丘陵で侵食された土砂が平野に堆積するとともに、平野の縁の段丘崖が侵食される。
- 寒冷期(氷河期)には海が後退し広い平野ができるとともに、丘陵の侵食が進む。
- 温暖期(間氷期)には土砂の堆積の方が優先する。
- 火山の噴火の度に平野は火山灰で覆われるが、低い段丘面では古い火山灰は失われている。
- 高い段丘面ほど古い火山灰が残っている。

4万年前までの主な気候区分

- ゲトワイデル亜間氷期(44,000～29,000年BP) 暖
- ウルム最盛期(25,000～16,500年BP) 最寒
- ウルム氷期後期(16,500～10,000年BP) 温暖化 グイマツからトドマツへ
- 完新世(10,000年BP以降)
- 8,500年BP 海水面上昇
- 6000年BP 海面最高位
- 5000～4000年BP 冷涼気候の訪れ 海退期
- 4000～2000年BP 再びやや暖
- 2000年BP以降 冷涼化

過去2万年における氷河の進出(寒冷化) と後退(温暖化)



後退(温暖化) ← → 進出(寒冷化)

十勝における人の活動史

- 12万年前 ナウマン象化石（包含層に石器らしきもの？）支笏1火山灰の下層
- 2万1500年前 川西C遺跡 多数の石刃と鉍物質顔料（道内最古）恵庭a火山灰の下層
- 1万9300年前 上士幌嶋木遺跡 黒曜石ナイフ形石器（道内最古）恵庭a火山灰の下層
- 1万4000年前 大正遺跡 土器から世界最古の海産物調理跡
- BC9000年 上似平遺跡 細石刃文化 樽前d火山灰の下層
- BC6000年 土器が使われる。八千代C遺跡 十勝最古の住居跡

十勝における人の活動史(続)

- BC5000年 漁労活動盛ん 浦幌町平和遺跡
- BC4000年 縄文模様 古舞4遺跡
- BC3000年 尖底土器 芽室小林遺跡
- BC2000年 平底土器 宮本、札内I、猿別
- BC1000年 筒形土器 駒場遺跡 縄文後晩期
(樽前cの下)
- BC 200年 鉄器 (続縄文期)
- AD1300年 農耕始まる 十勝太古川遺跡

ナウマン象化石が発見された 泥炭層（忠類村）



忠類村のナウマン象展示



ナウマン象骨格化石の発掘地点（晩成）



ナウマン包含層中に発見された 石器様のもの

十勝二万年史——23

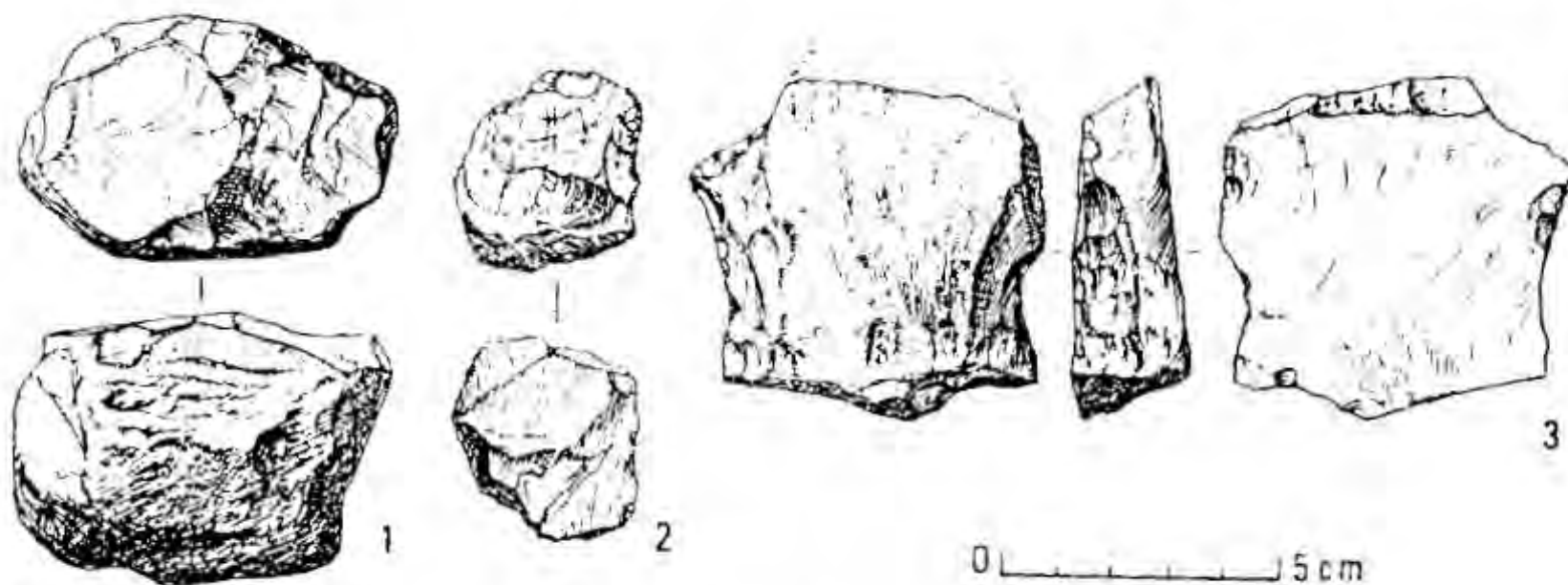
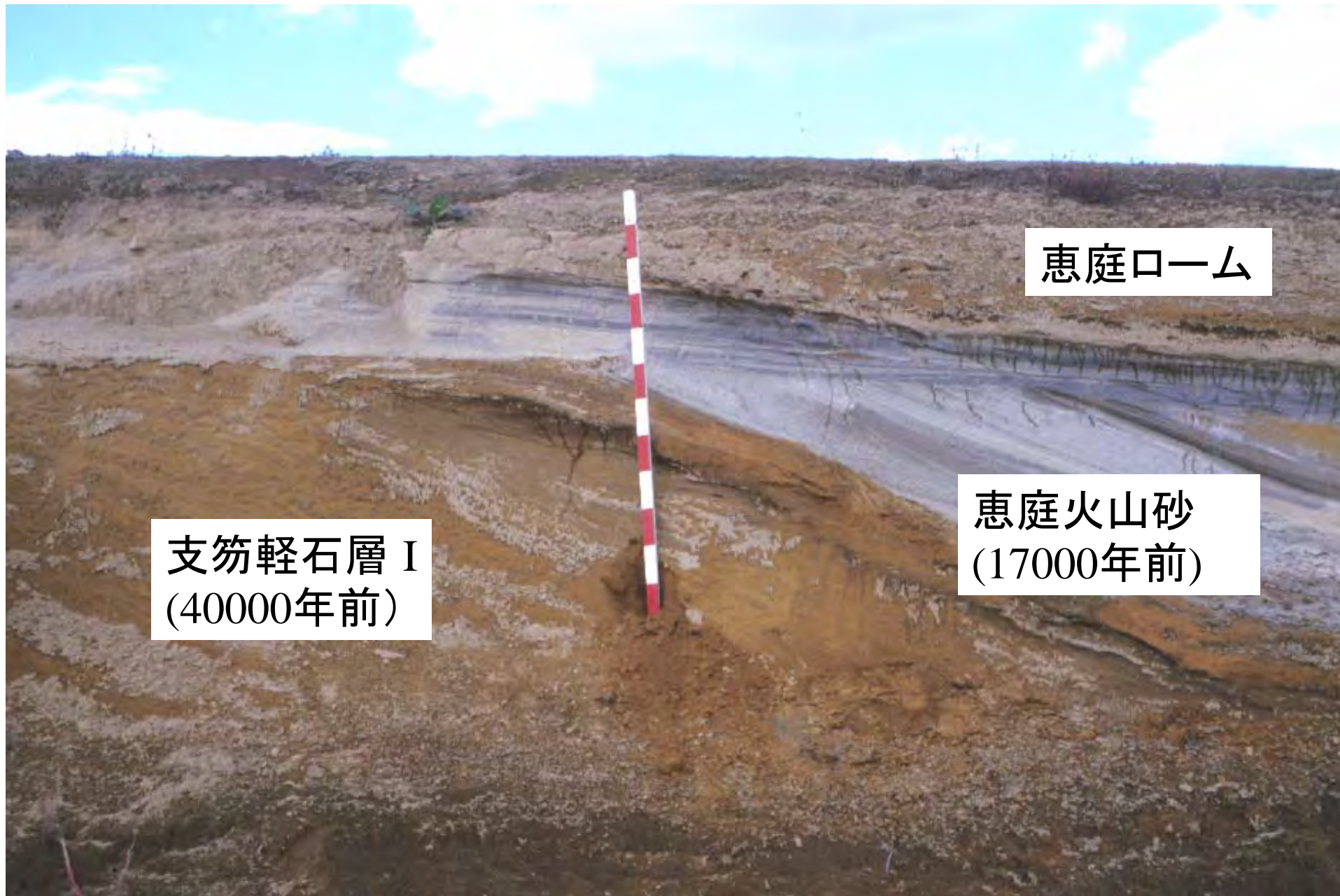


図3 忠類村ナウマン象化石包含層出土の石器？

12万年前（発見当時は4万3千年前とされていた）



恵庭口一ム

支笏軽石層 I
(40000年前)

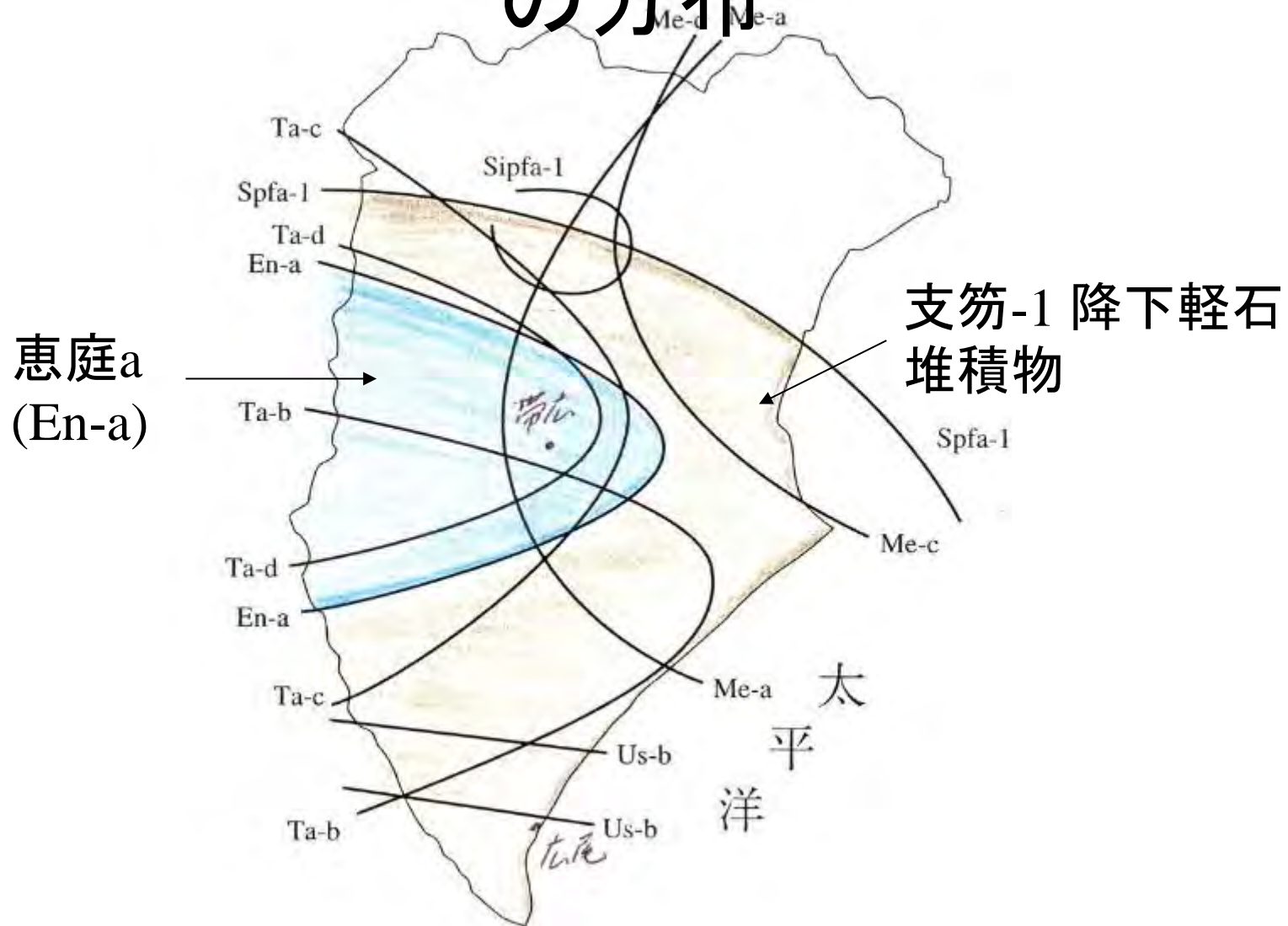
恵庭火山砂
(17000年前)

火山灰古砂丘(川西町) 不整合面に注目

En-a 火山灰の降った頃

- 17,000年前
- 石器時代、先土器時代
- 非常に寒冷で乾燥した氷河時代

恵庭a (En-a) 火山灰 (17000年前) の分布



氷河（ヨーロッパアルプスユングフラウ）



宗谷丘陵 周氷河地形

